三 その他

① 以為

(1) **以為**(おもへラク)～ト ＝おもへラク～ト／（～と思う）

(2) **以**(もつテ) **為**(なス) A ト ＝もつテAトなス／（Aと思う）

(3) **以**(もつテ) A ヲ **為**(なス) B ト ＝AヲもつテBトなス／（AをB にする／と思う／と考える）

＊以～＝～ヲもつテ　【理由や手段を示す】

(1) 以テス二～ヲ一。 ＝～ヲもつテス。／（～でする。）

(2) 以テ二～ヲ一也。 ＝～ヲもつテなり。／（～からである。）

②「すなはチ」の訳し方　＊(1)〜(6)の読みは全て「すなはチ」

(1) **則**＝（もし〜たら）

(例) 則チ践ミ二鋒(ほう)刃(じん)ヲ一、入レバ二湯火ニ一、…〔則ち鋒刃を践み、湯火に入れば、…〕
（もし鋭い刃を踏み、熱湯や火中に入ったならば、…）

＊〜バ(ハ)――則チ――…「則」＝訳さない

(2) **即**＝（すぐに）

(例) 樹 即チ応ヘテレ声ニ、…〔樹即ち声に応へて、…〕（木はすぐに声に反応して、…）

(3) **便**＝（すぐに・たやすく・簡単に）

(例) 便チ合セテ二財 産ヲ一、…〔便ち財産を合せて、…〕（すぐに財産を一緒にして、…）

(4) **乃**＝（そこで・やっと・なんと）

(例) 乃チ告グレ之ニ。〔乃ち之に告ぐ。〕（やっとこの人に告げた。）

注　之…ここでは「この人」の意味。

(5) **輒**＝（そのたびごとに・いつも）

（例）至リテハ二於百姓ノ租税一ニ、動モスレバ輒チ蠲免ス。〔百姓の租税に至りては、動もすれば輒ち蠲免す。〕

注　蠲免…租税を免除する。　（人民の租税に至っては、とかくいつも免除する。）

(6) **而**＝（そこで）

問五　「病児服シテレ薬ヲ、云ハバレ無シトレ効、<u>則不如貧医</u>。」の傍線部を現代仮名遣いで書き下しなさい。

③ **欲**

(1) **欲**N＝N**ヲ**ほっス
(2) **欲**V＝V**ント**ほっス
／（～したいと思う・～しようとする）

（例）欲渡。〔　　　　〕（渡ろうとする。）

問六　「必欲使之在尊貴之所」について、（a）返り点のつけ方と書き下し文、（b）その解釈として最も適当なものを、次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選べ。

（a）
① 必欲レ使レ之在二尊貴之一所　必ず之を使はんと欲するは尊貴の在る所なり
② 必欲レ使三之在二尊貴之所一　必ず之をして尊貴の所に在らしめんと欲す
③ 必欲三使之在二尊貴之所一　必ず使ひの尊貴の所に在らんことを欲す
④ 必欲三使レ之在二尊貴一之所　必ず之を使ひて尊貴に在らんと欲するの所なり
⑤ 必欲使三之在二尊貴一之所　必ず欲して之をして尊貴に在らしむるの所ならん

（b）
① 必ず教え子を高い地位につかせてやりたいと思う
② 必ず教え子を高官のもとに派遣したいと思う
③ 必ず教え子を皇帝の役に立つ人物にしたいと思う
④ 教え子をなんとかして出世させたいと思った結果である
⑤ 教え子に正しい教育を施してやりたいと思う理由である

④　倒置がおこる場合

（1）否定文中の目的語か補語が代名詞の場合

（例）未之聞。〔未だ之を聞かず。〕（まだこれを聞いていない。）

不汝与。〔汝に与へず。〕（お前に与えない。）

（2）「詠嘆」の「A哉、N也。」の句法

（例）美哉、花也。〔美しきかな、花や。〕

（3）目的語が疑問詞の場合

（例）何ヲカ書ク。〔何をか書く。〕（何を書くのか。）

（4）「以」を用いる場合

（例）以ツテレ銭ヲ与フ。〔銭を以つて与ふ。〕（お金を与える。）

（5）「之」を用いる場合

（例）此レヲ之レ謂フ。〔此れを之れ謂ふ。〕（これを言う。）

★補足

一 「複数の句法に使用される漢字」

① **於・于・乎**（文中）

(1) **置き字**

(2) 「　　」　V二於N一　＊N＝Vの動作主　（　　　　　）

(3) 「　　」　A二於N一　（　　　　　）

② **敢**

(1) **敢**（あへテ）＝（すすんで・わざわざ・おもいきって）

(2) **安**（いづクンゾ）**敢**（あへテ）**～**ン（ヤ）＝（　　　　　）

(3) **不敢～**＝〔　　　　〕／（　　　　　）

(4) **敢不～乎。**＝〔　　　　〕／（　　　　　）

③ 若・如

(1) 文頭にあって下から返らないとき「　　」／（　　）

(2) 下から返るとき「比況の助動詞」ごとシ／（～のようだ・～と同じだ）

(3) 不レ如・弗レ若 ～ニ ＝（～　　）／（　　）

莫レ如・無レ若 ～ニ ＝（～　　）／（　　）

(4) 「疑問」

〈文頭〉如何・若何～＝（　　）／（　　）

〈文末〉如何・若何。＝（　　）／（～は　　）【　　】

〈文末〉何如・何若。＝（　　）／（～は　　）【　　】

(5) 「反語」

如何・若何

〈文頭〉（　　）／（　　）

〈文末〉（　　）／（　　）

④ **能**

(1) **能**＝〔　　　　　〕／（　　　　　）

＊ **善**（よク）＝〜することが上手だ

銭（せん）明（めい）経（けい）善レ詩。〔銭明経詩を善くす。〕（銭明経は詩を作ることが上手だ。）

(2) **不レ能**＝〔　　　　　〕／（　　　　　）

(3) **安**（いづクンゾ）**能**〜ン（ヤ）・**豈**（あニ）**能**〜ン（ヤ）／（　　　　　　　　　　　　　）

⑤ **而**

(1) 文中で読まないとき＝置き字

(2) 文頭＝読む（置き字ではない）

(3) すなはチ（そこで）

(4) なんぢ〈＝汝・女・爾・若〉／（あなた・あなたたち）

二 「基本的な漢字の読み・（意味）」

【人物・人格・位・立場など】

1 我・吾(われ)・己(おのれ)・余・予・某(ぼう)・某(それがし)（私・私たち）
2 臣(しん)（君主に対して「私」）
3 妾(しょう)（女性の「私」）
4 朕(ちん)（天子の自称）
5 寡人(かじん)・孤(こ)（諸侯〈＝天子から領地を分与された君主〉・王の自称）
6 不肖(ふしょう)（〈立派な親に似ず愚かな人の意味〉→①私　②愚か者）
7 汝(なんぢ)・女(なんぢ)・若(なんぢ)・爾(なんぢ)・而(なんぢ)・子(し)・卿(けい)・吾子(ごし)（あなた・あなたたち）
8 君(くん)（①あなた・あなたたち　②お殿様　③君主）
9 足下(そっか)（〈手紙文で〉あなた）
10 上(しょう)（天子）
11 相(しょう)（宰相）
12 左右(さゆう)（近臣）
13 公卿(こうけい)（高位高官）
14 大夫(たいふ)（中級の官）
15 吏(り)（下級役人）
16 庶人(しょにん)（庶民）
17 百姓(ひゃくせい)（民衆）
18 故人(こじん)（旧友）
19 知己(ちき)・知音(ちいん)（理解者・親友）
20 君子(くんし)（立派な人）⟷ 小人(しょうじん)（つまらない人・身分の低い人）
21 賢(けん)（すぐれている人）⟷ 不肖
22 字(あざな)（別名）

【その他】

1 城＝じょう（町）

2 為人＝ひとトなリ（人柄）

3 者＝しゃ・もの・は・昔者（むかし）・今者（いま）

4 人間＝じんかん（世の中・俗世間）

5 理＝り（道理）

6 所以＝ゆゑん（原因・理由・手段・方法）

7 謂曰＝いヒテいはク

8 道＝いフ（言う）

9 対曰＝こたヘテいはク　＊対＝こたフ（目上の人にお答えする）

10 白＝まうス（申す・告げる）

11 中＝あたル

12 **竟**＝おはル

13 困＝くるシム

14 **卒**＝しゆつス（亡くなる）

15 烹＝にラル

16 愛＝をしム（惜しむ）

17 事＝つかフ（お仕えする）・ことトス（実践する）

18 作＝なス・つくル

19 就＝つク（おもむく・とりかかる）・なル（できあがる）・なス（しあげる）

20 之＝の・これ・ゆク

21 已＝すでニ・やム・のみ

22 過＝～ニよギル（～を訪問する）・すグ・あやまツ（間違える）・あやまチ

23 悪＝にくム・そしル・いづクンゾ・いづクニカ

24 且＝
- まさニ～ントす（今にも～しようとする）
- かツ（さらに・そのうえ・そもそも）
- しばらク（まあ）

25 為＝
- ～ノためニ
- ～トなル
- ～ヲなス（～を行う）
- ～トなス（～とする）
- ～ヲつくル
- ～ヲをさム（～を治める）
- たリ（断定）
- る・らる（受身）

26 与＝
- と↓「読み」の問題として一番頻出。下から返る。
- あたフ
- くみス（味方する・賛成する）
- あづかル（関係する）
- ともニス
- ともニ（一緒に）
- よリハ
- か・かな↑～与。（＝文末）

＊下から返らないときは「ためニ」。（他の読みは下から返る。「ためニ」も下から返る時もある）

27 寡＝すくなシ　28 衆＝おほシ　29 少＝わかシ（若い・年少）

30 蓋＝けだシ（たぶん・思うに）　31 凡＝およソ（そもそも）

32 夫＝そレ（そもそも）　33 抑々＝そもそも

34 数々＝しばしば（たびたび）　35 偶々＝たまたま　36 適々＝たまたま

37 終・**卒**・遂・**竟**＝つひニ

38 固＝もとヨリ（もともと・言うまでもなく）　39 素＝もとヨリ（平素から）

40 動＝ややモスレバ（とかく↑そうする傾向が強いこと）

41 毎＝～ごとニ・つねニ

42 方＝まさニ（ちょうど・これから・そこで）

43 所謂＝いはゆる（世間一般に言われる）

44 私・陰・窃＝ひそかニ

45　俄・**卒**・暴・遽＝にはかニ（急に）
46　早＝つとニ
47　嘗＝かつテ
48　忽＝たちまチ（急に）
49　徒＝たダ～ノミ・いたづらニ
50　因＝ちなみニ・よりテ（そこで）
51　如是・如此＝かクノごとシ（このようだ）
52　是以＝ここヲもつテ（だから・こういうわけで）
53　以是＝これヲもつテ（これで）
54　於是＝ここニおいテ（そこで）
55　未幾＝いまダいくばくナラず（まもなく）
56　須臾＝しゅゆニシテ（まもなく）
57　無幾何＝いくばくモなク（まもなく）
58　無幾＝いくばくモなシ（ほんの少し）

【身分がわかる動詞】
1　対＝こたフ（**目下から目上の人に**お答えする）
2　諫む＝いさム（**目下から目上の人に**注意する）
3　崩ず＝ほうズ（**天子が**亡くなる）
4　薨ず＝こうズ（**諸侯が**亡くなる）
5　弑す＝しいス（**子・臣が親・君を**殺す）

【時間】

1　光陰＝こういん（時間）
2　期年＝きねん（丸一年）
3　四時＝しいじ・しじ（春夏秋冬）
4　一旦＝いったん（ある朝）
5　一夕＝いっせき（ある夜・ひと晩）
6　夙夜＝しゅくや（早朝から晩まで）
7　他日＝たじつ（以前のある日・将来のある日）
8　百代＝はくたい（長い時間）
9　千載＝せんざい（千年・長い年月）
10　暮年＝ぼねん（晩年）
11　天年＝てんねん（寿命・天寿）

〈Memo〉

第7講 PART1 確認問題

①「以レ吏為レ師。」の書き下し文と現代語訳の組み合わせとして最も適当なものを、次の中から選べ。

注　吏…官吏。役人のこと。

ア　以為らく吏は師なりと。／役人を先生にしましょう。

イ　以為らく吏は師なりと。／役人が先生だからです。

ウ　吏を以て師と為さん。／役人を先生にしましょう。

エ　吏を以て師と為さん。／役人が先生だからです。

②「乃薦二舜於天一。」の現代語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

注　舜…人名。
　　天…天帝。

ア　すぐに舜を天帝に推薦した。

イ　簡単に舜を天帝に推薦した。

ウ　いつも舜を天帝に推薦した。

エ　そこで舜を天帝に推薦した。

③「側目不敢視。」の書き下し文として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　目を側めて敢へて視ず。

イ　目を側めて敢へて視ざらんや。

ウ　目を側めずして敢へて視る。

エ　目を側めずして敢へて視んや。

④　「莫レ若ニ六国※従親(しやうしん)シテ以テ※擯(しりぞ)クルニ※秦(しん)ヲ。」の傍線部の、送り仮名を含めた読み方として最も適当なものを、次の中から選べ。

注　従親…連合してともに戦う同盟を結ぶ。
擯…追い払う。　秦…国名。

ア　しかず　　イ　しくはなし　　ウ　ごとくあらず　　エ　およばず

⑤　「豈能ク佩(お)ビン二六国ノ※相印(しやういん)ヲ一乎。」の現代語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

注　佩…腰につける。　相印…宰相(さいしよう)の印。

ア　どうにかして六国の宰相の印を腰につけさせることができた。
イ　どうにかして六国の宰相の印を腰につけたいものだ。
ウ　どうしても六国の宰相の印を腰につけることができないだろうか、いや、きっとできるはずだ。
エ　どうして六国の宰相の印を腰につけることができただろうか、いや、できなかっただろう。

第７講　PART1　解答

三　③　〔渡らんと欲す。〕

問五　すなわちひんいにしかず

問六　(a)　②　(b)　①

★補足

一 「複数の句法に使用される漢字」

① 於・于・乎（文中）

(1) **置き字**

(2) 「**受身**」 V二於N一　＊N＝Vの動作主　（NにVされる）

(3) 「**比較**」 A二於N一　（Nより（も）A）

② 敢

(1) **敢**（あへテ） ＝（すすんで・わざわざ・おもいきって）

(2) **安**（いづクンゾ）**敢**（あへテ）～ン（ヤ） ＝（どうしてわざわざ～しようか、いや、決して～ない）

(3) **不敢～** ＝〔敢へて～ず〕／（決して～ない）

(4) **敢不～乎。** ＝〔敢へて～ざらんや〕／（どうして～しないことがあろうか、いや、～する）

③

若・如　＊書き下し文「如」＝「若」同様。

(1) **文頭**にあって**下から返らない**とき「　**仮定**　」／（もし〜ならば）

(2) **下から返る**とき「**比況**の助動詞」ごとシ／（〜のようだ・〜と同じだ）

(3) **不レ如**・**弗レ若** 〜ニ ＝〔〜に如かず　〕／（〜の方がよい・〜に及ばない）

莫レ如・**無レ若** 〜ニ ＝〔〜に如くは莫〔無〕し〕／（〜が一番よい・〜にこしたことはない）

(4)「**疑問**」

〈文頭〉如何・若何〜＝〔如何(いかん)ぞ〜〕／（どうして〜か）

〈文末〉如何・若何。＝〔如何(いかん)（せん）〕／（〜はどうするか）【　方法　】

〈文末〉何如・何若。＝〔何如(いかん)〕／（〜はどのようであるか）【　状態・結果　】

(5)「**反語**」

如何・若何

〈文頭〉〔如何ぞ〜ん〕／（どうして〜だろうか、いや、〜ない）

〈文末〉〔〜（は）如何せん〕／（〜はどうしようもない）

④ 能

(1) **能**＝〔能(よ)ク〕／（～できる）

＊ **善**(よク)＝～することが上手だ

銭(せん)明(めい)経(けい)善(レ)詩。〔銭明経詩を善くす。〕（銭明経は詩を作ることが上手だ。）

(2) **不**(レ)**能**＝〔能はず〕／（～できない）

(3) **安**(いづクンゾ)**能**～(ン(ヤ))・**豈**(あニ)**能**～(ン(ヤ))／（どうして～できるだろうか、いや、～できない）

第7講　PART1　確認問題　解答

〔解説〕

① 返り点の順に従っているものはウ・エ。「Aヲもつテ B トなス」と読み、「AをBにする」という意味。よって、ウが正解。

② 「乃チ」は「すなはチ」と読み、「そこで・やっと・なんと」という意味。よって、エが正解。

③ 「不敢～」は「あヘテ～ず」と読む否定の句形。よって、アが正解。なお、イのように「あヘテ～ざランや」と読む場合は「敢不～（乎）」となる。

④ 「莫レ若」は「～ニしクハなシ」と読む比較の句形。よって、イが正解。

⑤ 「豈能～」は「あニよクＡ～ン（や）」と読み、「どうして～できるだろうか、いや、できない」という意味になる反語の句形。よって、エが正解。

〔解答〕

① ウ　② エ　③ ア　④ イ　⑤ エ